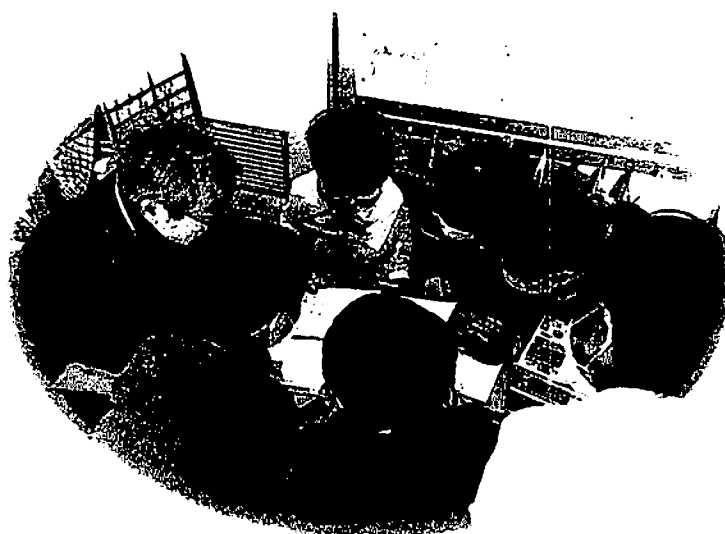


## 研究主題

総合的な学習の時間を核としたカリキュラム・マネジメント  
～横断的・総合的な問題解決の能力を育成～



## 1 研究主題

### 総合的な学習の時間を核としたカリキュラム・マネジメント ～横断的・総合的な問題解決の能力を育成～

## 2 研究主題設定の理由

### (1) 学習指導要領から

学習指導要領では、「生きる力」の育成を継続して示している。「生きる力」とは、変化の激しい社会において、人と強調しつつ自律的に社会生活を送ることができるようになるために必要な、人間としての実践的な力であり、豊かな人間性を要素としている。その中でも、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む「社会に開かれた教育課程」の実現が必要とされている。

学習指導要領等を受け止めつつ、子供たちの姿や地域の実情等を踏まえて、教育目標を達成するために、どのような教育課程で編成し、どのようにそれを実施・評価し改善していくのかという「カリキュラム・マネジメント」の確立が求められている。今回の改訂が目指す理念を実現するために、本校の総合的な学習の時間は、総合的な学習の時間と各教科等の相互の関わりを意識し、育てたい資質・能力に対応したカリキュラム・マネジメントを見直すことに着目した。新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた教科・科目等の新設や目標・内容の見直しが主体的・対話的学びにつながっていく。各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校教育目標を踏まえた教科等横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していくことを考え、本主題を設定した。

### (2) 学校教育目標から

本校の学校教育目標とめざす児童像は以下の通りである。

知・徳・体の調和のとれた心豊かなたくましい児童の育成【みんな なかよし】  
『かしこい子(知)、やさしい子(徳)、たくましい子(体)』

この学校教育目標を実現するためには、自ら進んで行動しようとする態度や思いやりの心を育てていくこと、また、問題に直面したときに自分の経験や知識を使って解決できる力を育てていくことが大切である。めざす児童像『みんな なかよし』は、本校校歌の歌詞にも挙げられており、開校当初から目指してきたものである。また、学校教育目標を具現化するためにも本校の総合的な学習の時間では、実社会や実生活の中から自らの課題を設定し、多様な他者と協働的に課題解決に向けて見通しを立て、具体的な学習活動を展開していこうと考えた。郷土の歴史や文化、自然、佐倉ゆかりの人々など、佐倉市でなければ学ぶことのできない身近な市民文化資産を教材とし、自然環境や地域の文化施設での体験や活動から感性や好奇心を育み、追究していくことに喜びを感じ、自信を深めていくために、本主題を設定した。

### (3) 学校の様子と児童の実態

本校は、創立32年を迎えた学校で、佐倉市の南部に位置し、鹿島川をはさんで四街道市と隣接している。学区は、古くからある自然環境に恵まれた寺崎地区、宅地化が進み市街からの転居者が多い大崎台地区、近年急ピッチで宅地造成等が進んだ寺崎北地区の3つに分けられる。保護者の多くが教育に対して高い関心をもっており、学校に対する希望や期待が大きい。授業参観や学校行事への参加率が高く、協力的である。本校では、学校運営委員会という地域の方々と学校を繋ぐ組織が確立している。地域の方々の学校に対する関心が年々高まり、特に、SGV（スクールガードボランティア）と呼ばれる地域の方々には、年間を通して、学校安全や学習支援、環境整備活動等に携わってもらっている。

本校の児童は、「すすんで あいさつ」「ていねいな ことばづかい」「なかよく せいかつ」などの具体的な行動目標のもと、明るく元気よく生活し、前向きに行動したり学習したりしようとする態度が全体的に見られる。しかし、与えられた課題や決められたことに対しては進んで行えるものの、自ら考え行動する力や、自分の考えを発信する力には課題が見られる。佐倉市学習状況調査や県学力検査の結果からは、各教科とも基礎的・基本的な内容は、学年差はあるものの概ね身に付いているが、思考力・表現力については個人差が大きいことがわかった。

総合的な学習の時間を通して、探究的な学習を各教科等の学習と関連付けて行い、身に付ける課題を見いだし解決する力をつけていきたいと考えている。さらに、身近な市民文化資産を教材として活用し、児童の郷土愛を育んでいきたいと考え、本主題を設定した。

### 3 主題について

佐倉市には、佐倉の豊かな恵み（人物、歴史、自然、文化）を学ぶ「佐倉学」がある。体験活動を通して「佐倉学」を学ぶことで、好学進取の気風を育み、郷土に対する誇りや、思いやりの心を持ち、豊かな創造力と発信力を備えた児童生徒の育成を図る。そして、次代を切り拓き、各分野で活躍できる人材の育成を目指している。本校の周りには、豊かな自然や歴史ある寺社、博物館・美術館などの教育施設が多くある。どの教科においても、地域のよさを生かした活動を学習に取り入れることができる。

本校では、道徳科として心の教育に重点を置かれることになった今、道徳科の研究を行っている。道徳科を核とした総合単元的な学習を行い、他教科と関連付けながら進めていることである。そこで、新しい学習指導要領等の理念を踏まえ、本校としてのカリキュラム・マネジメントについて、3つの側面から捉えることとした。

1. 各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた教科横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していくこと。
2. 教育内容の質の向上に向けて、子供たちの姿や地域の現状等に関する調査や各種データ PDCA サイクルを確立すること。
3. 教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源も含めて活用しながら効果的に組み合わせること。 ※文部科学省HP 参照

そこで、総合的な学習の時間と、他教科・道徳科等とを横断的に関連させながら教科横断的な視点から教育活動を改善し、教育内容の質の向上を図ることを考えた。

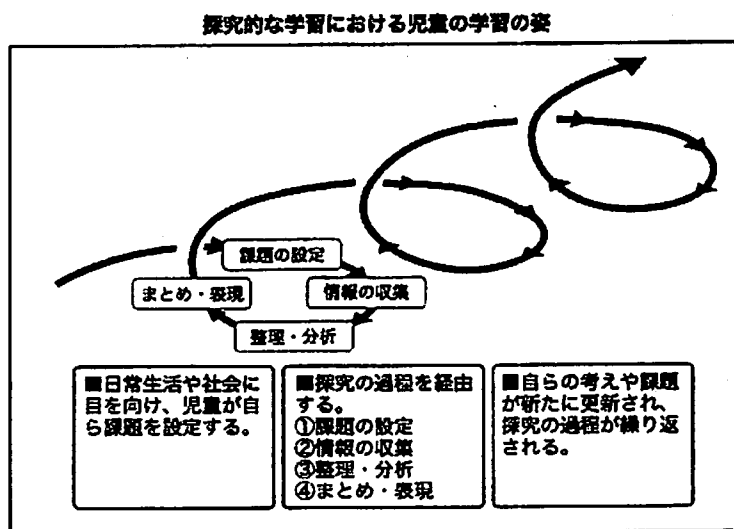
#### 4 研究仮説

仮説

総合的な学習の時間を核として、教科間のつながりを意識したカリキュラムを編成すれば、探究的な学習の過程となり、佐倉市について児童は多面的・多角的に捉え、考えることができるだろう。

目標の達成に必要な教育内容を組織的に配列し、一つの教科等の枠に収まらない課題に取り組む教育活動を改善し、教育内容の質の向上を図る。

そのためにも、総合的な学習の時間における探究的な学習の、問題解決的な活動が発展的に繰り返されていく下図のような一連の学習活動になるようなカリキュラムを編成した。



※小学校学習指導要領解説 参照

まず、教育課程全体を見直し、効果的な年間指導計画や時程等の編成を行った。総合的な学習の時間と他教科で学ぶことを関連付けることや発達段階や成長過程のつながりを踏まえた内容を考え、指導計画の改善をした。課題を探究する活動に各教科を相互に関連付けることで、より主体的・対話的な深い学びにつながると考えた。さらに、地域とともにある学校づくりに向けた地域と学校の連携・協働に向けた取組を計画的に取り入れることにより、「社会に開かれた教育課程」の実現を目指した。

#### 探究のプロセス

##### ① 課題の設定

佐倉学道徳「佐倉子どもかるた」の授業を行い、課題を設定し課題意識をもつ。

##### ② 情報の収集

社会科で地域のよさに気付いたり、調べたりする活動を行う。

##### ③ 整理・分析

国語科「俳句に親しむ」の学習で、5・7・5音のリズムや文語の響きに興味をもち、かるた作りに生かす。地域の方々（佐倉子どもかるた子都手留会の方々）と読み札の内容を考えていく。

##### ④ まとめ・表現

佐倉市の自慢できるよさをかるたに表し、できたかるたを授業参観で発表する。

<本校の構造化のイメージ>

人格の完成を目指す

教科横断的・総合的に育成するべき資質・能力

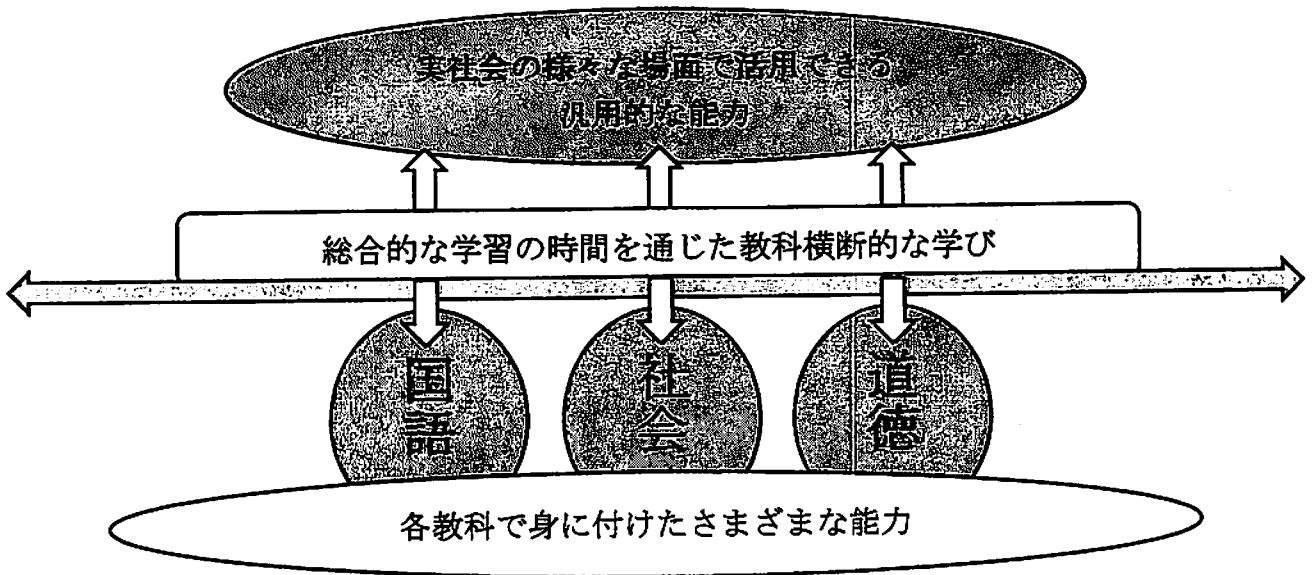
↑ (教科等間の往還 カリキュラム・マネジメント) ↓

	個別の知識や技能 (何を知っているか, 何が できるか)	教科等の本質に根ざした 見方や考え方等 (知っていること・できるこ とをどう使うか)	情意, 態度等に 関わるもの (どのように社会・世界と関わ りよりよい人生を送るか)
教科学習	各教科に固有の知識や 個別のスキル	各教科の本質に根ざした 問題解決の能力, 学び方や ものの考え方	各教科を通じて育まれる 情意, 態度等
総合的な学習 の時間	(各学校で設定)	横断的・総合的な 問題解決の能力	実社会における横断的・総合的 な問題解決に取り組む態度
道徳教育	道徳的価値	道徳的な判断力	道徳性
特別活動	集団の運営に関する方法や 基本的な生活習慣等	よりよい集団の生活を形成 し, 自己を生かす能力	自主的, 実践的に自己の役割 や責任を果たす態度等

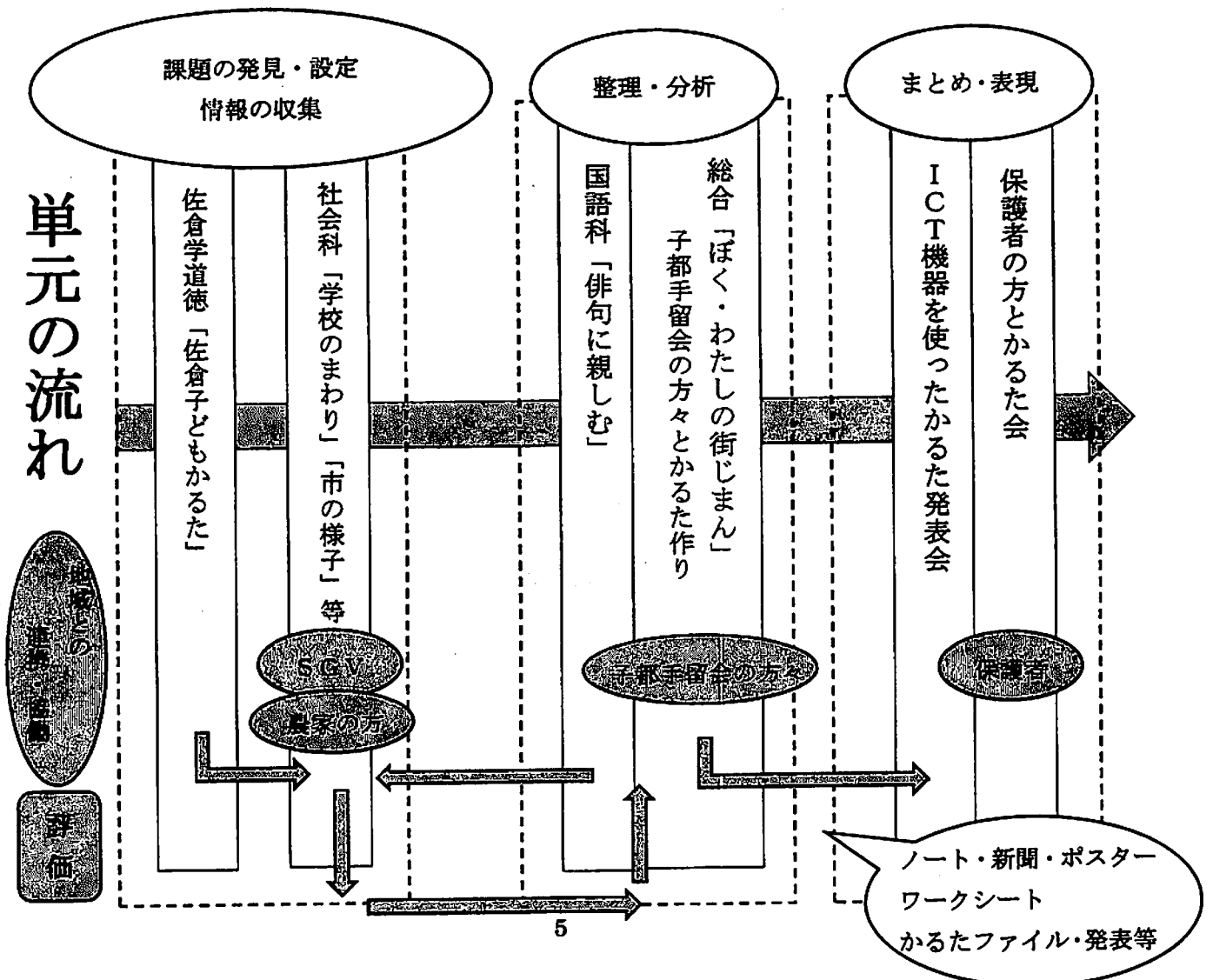
← (総合的に育成する学習プロセス) →

※文科省 教育課程部会  
生活科・総合的な学習の時間 ワーキンググループ 参照

<教科と総合的な学習の時間の関係>



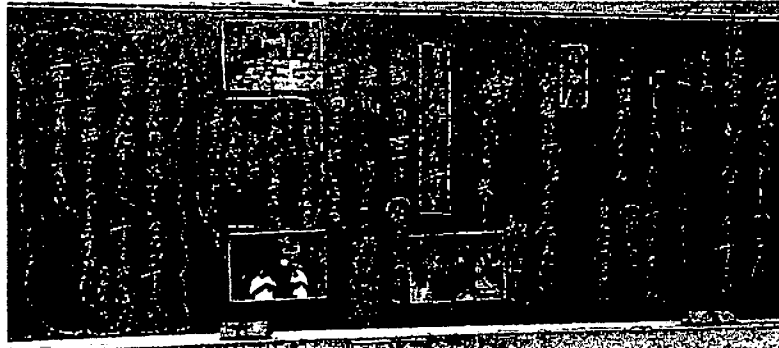
3年「ぼく・わたしの街 佐倉」の大単元の実践



5 実践

(1) 3年生の活動「ぼく・わたしの街 佐倉」

過程	学習活動のねらい	学習活動
<p>課題の設定</p>	<p>佐倉学道徳『佐倉子どもかるた』            課題の設定で佐倉学道徳『佐倉子どもかるた』の資料を扱い、ふるさと佐倉への思いをかるたにした子都手留会（しってるかい）の方々の思いに気づかせ、自分たちも生まれ育った佐倉に愛着をもち、より調べていきたいという意欲をもたせる。</p>	<p>○佐倉の好きなどころ、すごいと思うことについて話し合う。            ・景色がきれい。            ・学区に密蔵院がある。            ・公園や田んぼがたくさんある。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>佐倉子どもかるたには、どのような思いがこめられているのだろう。</p> </div> <p>○資料「佐倉子どもかるた」を読み、話し合う。            ○かるたが出来上がるまでの苦労について考え、思いを知る。            ○2年3ヵ月をかけて、かるたが出来上がったときのメンバーの思いを知る。</p>
<p>情報の収集</p>	<p>社会科            「学校のまわり」</p> <p>情報の収集では、道徳の学習を意識させながら、社会科の学習で実際に学区や佐倉市内を見たり、聞いたりする活動を行い、佐倉市のよさを探す活動を行う。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>佐倉市のよさを調べ、集めよう。</p> </div> <p>○わたしたちの学校のまわりは、どのような様子なのかを調べる。【学区探検】            学校を中心とし、東西南北に分け、地形や土地利用などの特色あるコースを設定し学区探検を行う。</p>









(2) 児童のふりかえり

⑤佐倉市の自まんしたいよいところはどんなところがありましたか。(思いつくものをいくつかもよいので書きましょう。)

佐倉市のよいところがたくさんあって、いろいろな人に伝えていきたいと思った。

⑥佐倉市の自まんしたいよいところはどんなところがありましたか。(思いつくものをいくつかもよいので書きましょう。)

いろいろな場所にいろいろなよいところがあった。  
たとえば「寺崎北にはお店があってべんり」など

⑦「かるた作り」をやってみた感想を教えてください。

佐倉市のよい所をたくさん知れたのでよかったです。作っていて、佐倉市の今まで知らなかったことがよくわかりました。

⑧「かるた作り」をやってみた感想を教えてください。

佐倉市のかるた作りをやって自分の知らない所にいろいろなすごいいいところを知れたのでよかったです。

⑨佐倉市の自まんしたいよいところはどんなところがありましたか。(思いつくものをいくつかもよいので書きましょう。)

やまといもか「おいしいところ  
れきしの人物が(佐倉で育った人)が  
たくさんいるところ。  
(たいぜん、ほたて正よし 津田うめ子など)

⑩「かるた作り」をやってみた感想を教えてください。

いろいろな人に佐倉のいいところをつたえられたこと  
(家の人、スクールガードの人、してる会の人)  
。自分も知らない佐倉について学べたこと。

## 6 成果と課題

### 【成果】

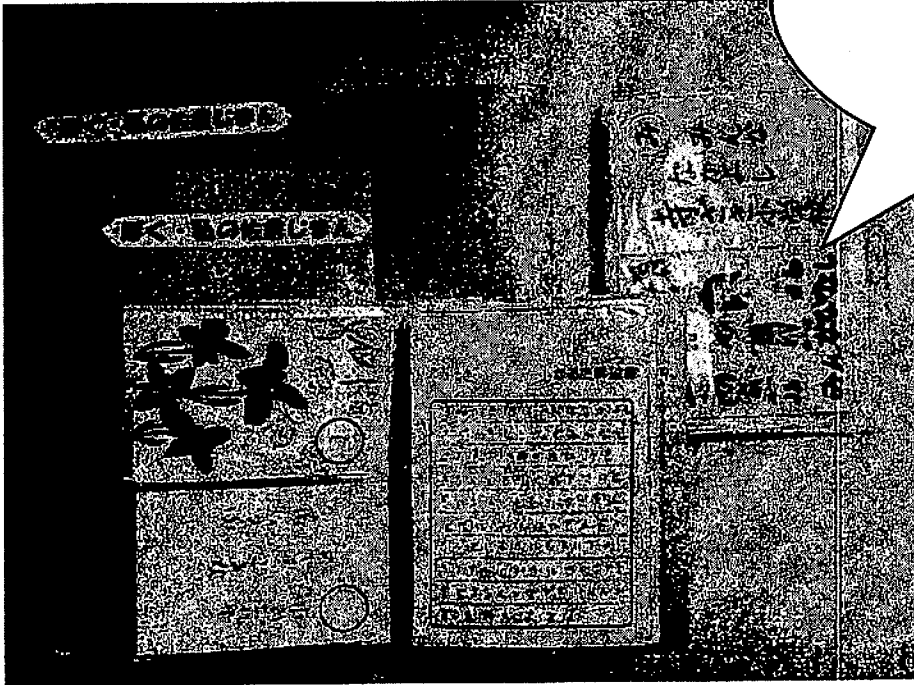
- ・教科横断的に子どもたちの思考のつながりを意識して、学習活動を進めていくことにより、子どもたち自身が能動的に取り組むことができた。
- ・道徳の学習で子どもたちから出た評価を生かして、意図的計画的に総合的な学習の時間の活動につなげることができた。道徳科と総合的な学習の時間を関連付けることはとても効果的であると感じた。
- ・今回のカリキュラムでは、学校のねらいと地域の方々の思いが一致していたことにより、「社会に開かれた教育課程」の観点を意識したカリキュラムを作ることができた。

### 【課題】

- ・さらに子どもたちが多角的・多面的に物事を捉え、考えることができるようにしたい。
- ・教師は、児童の実態を分析する力を養い、授業の構想・設計、日常的な指導・支援、授業改善・カリキュラム改善を行っていかなければならない。
- ・教科横断的な視点で学習を進めるための手立てや体制づくり。
- ・教科等の縦割りや学年を越えて学校全体で取り組んでいくことができるように、見直しを図る必要がある。そのために、教職員が「カリキュラム・マネジメント」の必要性を理解し、日々の授業についても、教育課程全体の中での位置付けを意識しながら取り組んでいかなければならない。

ぼく・私の佐倉じまん

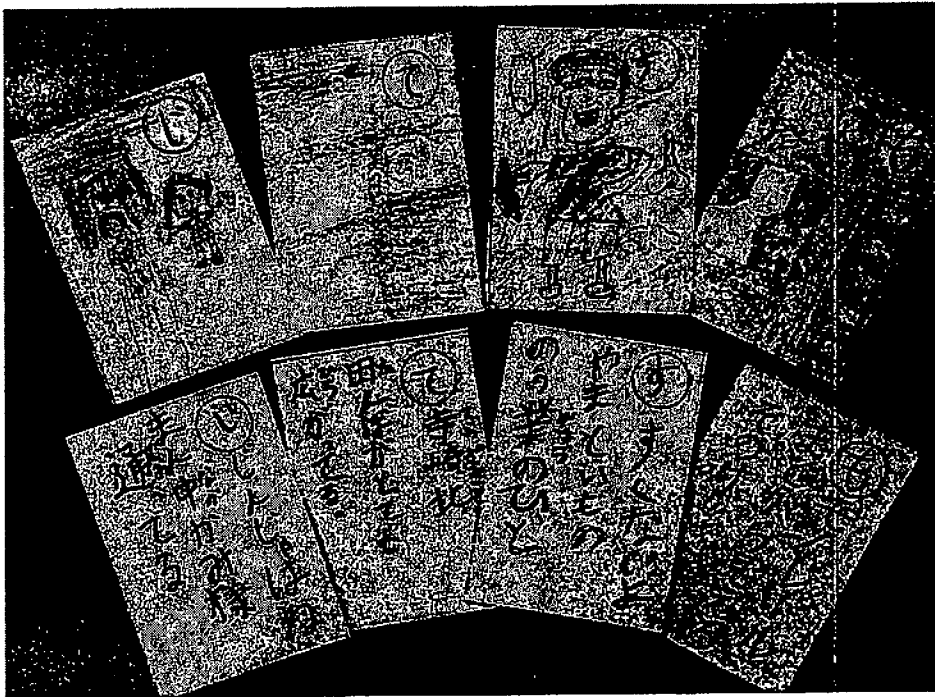
かるたづくり



かるたの  
ファイリング

「モルルール」<sup>かいせつ</sup>かるた解説書

モルルールからはビルやマンションお店などいろいろなたて物が見えました。モルルールは雷車とちがって、上から見えたのでみなさんも、モルルールにのるきかいがあれば、どこからけしきを見てください。

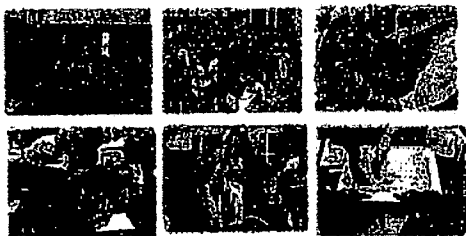


「かみ萩（しんじ）」<sup>かいせつ</sup>かるた解説書

学区たんけんびどねじのいたしきに、手をあらう所によると言われて、何だか思ったら、手の中はかみ萩のとおりみちたて言っていたので、いまして、いまもやっています。いつも夕刻の人が、手の中を覗いているから、この作り方を矢張り、かみ萩、30人がたてを作りました。

平成30年8月22日(水)

## これからの総合的な学習の時間に 求められていること



諸岡 浩  
(武蔵野大学 非常勤講師)

## 今日の講演の内容

～ これからの総合的な学習の時間に  
求められていること～

- はじめに
- これまでの「総合的な学習」の成果と課題
- 新学習指導要領で、私たちがしていくこと
- 実践事例としての谷戸第二小学校の取組

### ■ 配布資料

- ・プレゼンの内容
- ・総合的な学習の時間の構造イメージ(学習指導要領解説)
- ・谷戸二の研究構想図、全体計画

はじめに

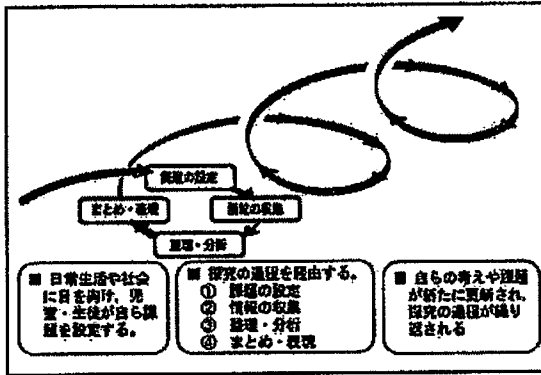


## これまでの「総合的な学習の時間」の取組と成果、課題は…

### これまでの「総合的な学習の時間」の取組

- ① 教科等の枠を超えた横断的・総合的な学習とすることが重要としてきた。
- ② 探究的な学習や協働的な学習とすることが重要としてきた。
- ③ 探究的な学習を実現するため、「○課題の設定→○情報の収集→○整理・分析→○まとめ・表現」の探究のプロセスを明示し、学習活動を発展的に繰り返していくことを重視してきた。

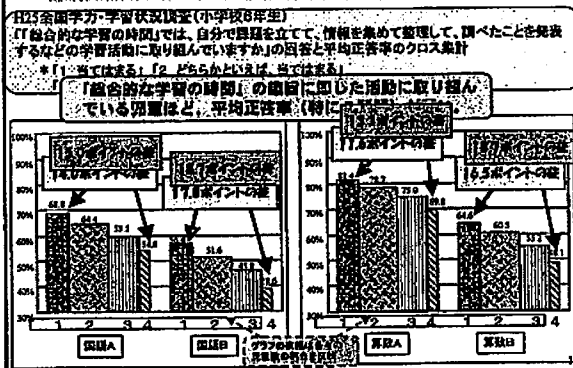
### 総合的な学習の時間における児童の学習の姿



### 「総合的な学習の時間」の成果

- ① 総合的な学習の時間で探究のプロセスを意識した学習活動に取り組んでいる児童生徒ほど、各教科の正答率が高い傾向にある。
- ② 探究的な学習活動に取り組んでいる児童生徒の割合が増えている。
- ③ 総合的な学習の時間の役割はOECDが実施する生徒の学習到達度調査(PISA)における好成績につながったのみならず、学習の姿勢の改善に大きく貢献するものとして国際的に高く評価されている。

### 総合的な学習の時間の現状



### 「総合的な学習の時間」の課題

- これまで以上に総合的な学習の時間と各教科等の相互の関りを意識しながら、学校全体で育てたい資質・能力に対応したカリキュラム・マネジメントが行われるようにすること。
- 探究のプロセスの中でも、「整理・分析」、「まとめ・表現」に対する取組が十分ではない。探究のプロセスを通じた一人一人の資質・能力の向上を一層意識すること。

Q :なぜ、「総合的な学習の時間で探究のプロセスを意識した学習活動に取り組んでいる児童生徒ほど、各教科の正答率が高い傾向にある」のか？

<みなさんの考え>

- 
- 
- 

新学習指導要領で、  
私たちがしていくこと

前学習指導要領（小学校）  
「総合的な学習の時間」の目標

横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

（平成20年3月告示）

新学習指導要領（小学校）  
「総合的な学習の時間」の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関する概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようにする。

(2) 実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

(3) 探究的な学習に主体的・協同的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。  
（平成29年3月告示）

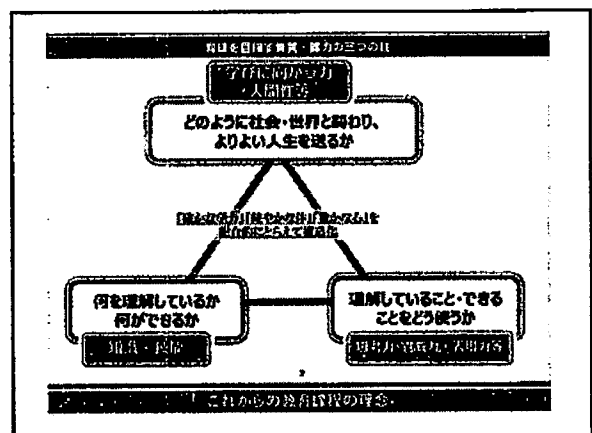
きょうどう

○ 共同・・・複数の人や団体が、同じ目的のために一緒に事を行ったり、同じ条件・資格でかかわったりすること。

○ 協同・・・複数の人または団体が、力を合わせて物事を行うこと。共同。

○ 協働・・・同じ目的のために、対等の立場で協力して共に働くこと。

【出典：デジタル大辞泉】



小学校学習指導要領（平成29年3月 告示）

第1章 総則

第1 小学校教育の基本と教育課程の役割

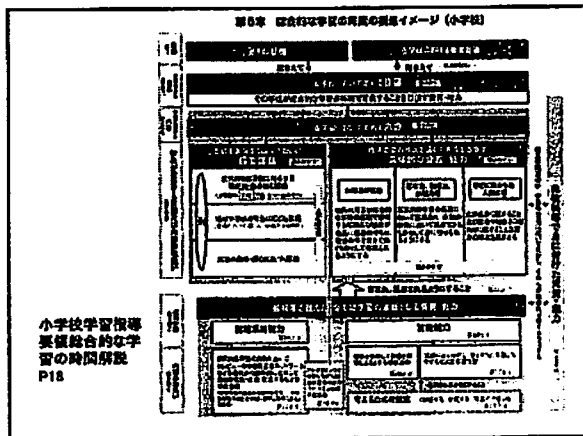
2 学校の教育活動を造めるに当たっては、各学校において、第3の1に示す主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、次の(1)から(3)までに掲げる事項の実現を図り、児童に生きる力を育むことを目指すものとする。

(1) 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かし多様な人々との協働を促す教育の充実を図ること。その際、児童の発達段階を考慮して、児童の言語活動など、学習の基礎をつくる活動を充実するとともに、家庭との連携を図りながら、児童の学習習慣が確立するよう配慮すること。

3 2の(1)から(3)までに掲げる事項の実現を図り、豊かな創造性を備え、持続可能な社会の創り手となることが期待される児童に、生きる力を育むことを目指すに当たっては、学校教育全体並びに各教科、道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動(以下「各教科等」という。ただし、第2の3の(2)のア及びウにおいて、特別活動については学級活動(学校給食に係るものを除く。)に限る。)の指導を通してどのような資質・能力の育成を目指すのかを明確にしなが、教育活動の充実を図るものとする。その際、児童の発達の段階や特性等を踏まえつつ、次に掲げることが偏りなく実現できるようにするものとする。

- (1) 知識及び技能が習得されるようにすること。
- (2) 思考力、判断力、表現力等を育成すること。
- (3) 学びに向かう力、人間性等を涵養すること。

4 各学校においては、児童や学校、地域の実態を適切に把握し、教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていくこと、教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと、教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくことなどを通して、教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていくこと(以下「カリキュラム・マネジメント」という。)に努めるものとする。



実践事例としての  
西東京市立谷戸第二小学校の取組

- 学校カリキュラムの編成と充実のために  
～谷戸第二小学校の取組～
- ① 学校の教育目標の点検・確認
  - ② 自校の「総合的な学習の時間」の目標の修正・改善（新学習指導要領に対応）
  - ③ 自校の「総合的な学習の時間」の内容の選択と配列（新学習指導要領に即した見直し・確認）
  - ④ スクールスタンダード(全校共通の手だて)の共有と、それを踏まえ、各学年・学級担任の創意工夫を生かすことを励まし、応援すること



## スクール・スタンダードとしての 2つの柱

### <柱1> 単元づくり

- 探究的な単元学習の構築
- 国語科等との関連的指導

### <柱2> 1単位時間の授業づくり

- 思考の「見える化」と「操作化」を推進し、全児童の協働を促すツールの活用
- 子供の目線に立った学習展開の組立
- 学習形態の工夫
- 子供の見とりとそれに応じた言葉かけ
- 授業の入り方と次につながる授業の終わり方

## スクールスタンダードの具体化と共有

- 校内研究会を通して (策定・共有)
- 各学年1本の研究授業を通して(適用・活用)
- 研修会・ミニ研修会を通して (浸透)

□ 児童の問いや体験に基づいた課題設定と問題解決のための探究活動の組立(ストーリー性)

児童の思いや願いを予測しながら、教師が探究のストーリーを描き(文章で書き)、それを基に単元計画を練っていく。計画の段階でのストーリーであるため、予想と実際のずれが生じた場合には、その原因を考え、実際の児童の問いや思いに沿って修正を加えながら単元を組み立てていき、活動を深めていく。

### <単元のストーリーを言葉で表す>

「探究的な単元学習の構築」

「探究的な単元学習の構築」

「探究的な単元学習の構築」

「探究的な単元学習の構築」

「探究的な単元学習の構築」

「探究的な単元学習の構築」

「探究的な単元学習の構築」

「探究的な単元学習の構築」

「探究的な単元学習の構築」

「探究的な単元学習の構築」

「探究的な単元学習の構築」



### <単元構想を作成する>

「探究的な単元学習の構築」

「探究的な単元学習の構築」

「探究的な単元学習の構築」

「探究的な単元学習の構築」

「探究的な単元学習の構築」

「探究的な単元学習の構築」

「探究的な単元学習の構築」

「探究的な単元学習の構築」

「探究的な単元学習の構築」

「探究的な単元学習の構築」

## 教科横断的な学習カリキュラムの編成と実施 ～ 国語科との関連的指導を具体化する ～

□ 国語科の学習内容、学習方法を活用するため、国語科の単元配列等の学習計画を組み合わせるなどした年間計画を構築

学年	国語科	算数科	理科	社会科	総合	英語	音楽	体育	保健	道徳
1年	1. 国語科の単元配列	1. 算数科の単元配列	1. 理科の単元配列	1. 社会科の単元配列	1. 総合の単元配列	1. 英語の単元配列	1. 音楽の単元配列	1. 体育の単元配列	1. 保健の単元配列	1. 道徳の単元配列
2年	2. 国語科の単元配列	2. 算数科の単元配列	2. 理科の単元配列	2. 社会科の単元配列	2. 総合の単元配列	2. 英語の単元配列	2. 音楽の単元配列	2. 体育の単元配列	2. 保健の単元配列	2. 道徳の単元配列
3年	3. 国語科の単元配列	3. 算数科の単元配列	3. 理科の単元配列	3. 社会科の単元配列	3. 総合の単元配列	3. 英語の単元配列	3. 音楽の単元配列	3. 体育の単元配列	3. 保健の単元配列	3. 道徳の単元配列
4年	4. 国語科の単元配列	4. 算数科の単元配列	4. 理科の単元配列	4. 社会科の単元配列	4. 総合の単元配列	4. 英語の単元配列	4. 音楽の単元配列	4. 体育の単元配列	4. 保健の単元配列	4. 道徳の単元配列
5年	5. 国語科の単元配列	5. 算数科の単元配列	5. 理科の単元配列	5. 社会科の単元配列	5. 総合の単元配列	5. 英語の単元配列	5. 音楽の単元配列	5. 体育の単元配列	5. 保健の単元配列	5. 道徳の単元配列
6年	6. 国語科の単元配列	6. 算数科の単元配列	6. 理科の単元配列	6. 社会科の単元配列	6. 総合の単元配列	6. 英語の単元配列	6. 音楽の単元配列	6. 体育の単元配列	6. 保健の単元配列	6. 道徳の単元配列

□ 国語科の学習内容を軸(生かせる)ように意識した指導・計画

## ② 谷戸二の

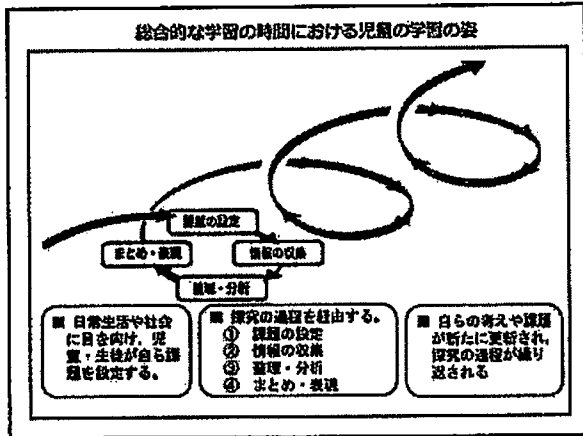
### 「総合的な学習の時間」の目標

地域の社会や生活の中から課題を見付け、主体的・協働的・創造的に課題を解決する探究的な学習に取り組み、課題に関わる概念の形成や課題解決のための思考力・表現力、地域に貢献する意識と態度などの資質・能力を身に付け、自己の生き方を考えていけるようにする。

## <研究の柱1:単元構想>

### ①探究的な学習の構築

- ・ 追究したくなる学習材の選定
- ・ 児童の問い、体験に基づいた探究活動の組立(ストーリー性)
- ・ 魅力的な体験活動の組立
- ・ 地域の専門家等のゲストティーチャーの活用
- ・ 他学年や地域に役立つ活動



<研究の柱1:単元構想>

①探究的な学習の構築

第2学年「つくって あそぼう」

いいね！じゃあもう一回  
体験からの気づき  
思いの表現  
みようよ！

かな。

<研究の柱1:単元構想>

①探究的な学習の構築

第3学年「わたしたちの町はすてきな街  
～見のがしてたね、西東京市～」

まとめ・表現  
西東京市  
まとめ・表現  
分析

新聞形式の活用  
新聞を用いた発表  
えませんか？

<研究の柱1:単元構想>

②国語科との関連的指導

知識・技能の活用  
横断的な学習展開  
親和性が高い

- ・国語科の学習計画の組み換え (年間計画の作成)
- ・国語科の既習内容を活かす指導、助言

<研究の柱1:単元構想>

②国語科との関連的指導

第1学年「がっこうのだいすきをみつけよう」

第4学年「パラリンピック応援隊！」

関連的な指導  
どう！自己の思いの詳細な表現  
わたしは○○だと思ったからです。

総合的な指導  
新聞の特徴を活用

<研究の柱2:一単位時間の授業作り>

①思考の「見える化」、「操作化」の推進

②学習形態の工夫

- ・発達段階に応じた、思考ツールの活用
- ・ミニホワイトボード、付箋紙、視聴覚機器等の活用
- ・板書の工夫(構造的な板書)
- ・学習形態の組立 (一人学び・二人学び  
グループ学び・みんな学び)

### 手だて：思考ツールの活用

○ 思考ツールの活用で、情報の「整理・分析」の学習の充実が、全国的にも浸透している。思考力・表現力等の資質・能力の伸張に効果を上げている。全員参加と協働を促すツールでもある。

本時では、

<留意点>

- ・期待する思考スキルに対応した思考ツールの選択
- ・他教科等でも活用を進め、子供が習熟できるように
- ・次第に、子供自身が選択して活用できるように
- ・必要に応じて、思考スキルを組み合わせて課題解決を

思考スキル	思考ツール	思考スキル	思考ツール
分類する	Xチャート、Yチャート	構造化する	ピラミッドチャート
広げる	イメージマップ	整理分類する	フリーカード法

### <研究の柱2：一単位時間の授業作り>

#### ①思考の「見える化」、「操作化」の推進

#### ②学習形態の工夫



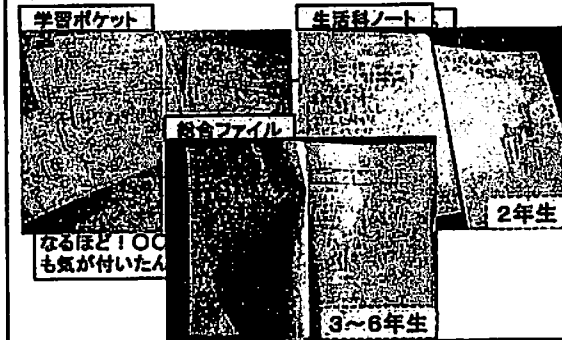
### <研究の柱2：一単位時間の授業作り>

#### ③見取りとそれに応じた言葉かけ

- ・適切な見取り  
(児童の発言、ふり返りカード等)
- ・活動の実際に応じた言葉かけ  
(認め・ほめる、励ます、つなげる、  
問い返す等)

### <研究の柱2：一単位時間の授業作り>

#### ③見取りとそれに応じた言葉かけ



### <研究の柱2>

#### ○見取りとそれに応じた言葉かけ



### <研究の柱2：一単位時間の授業作り>

#### ④授業の入り方と次につながる

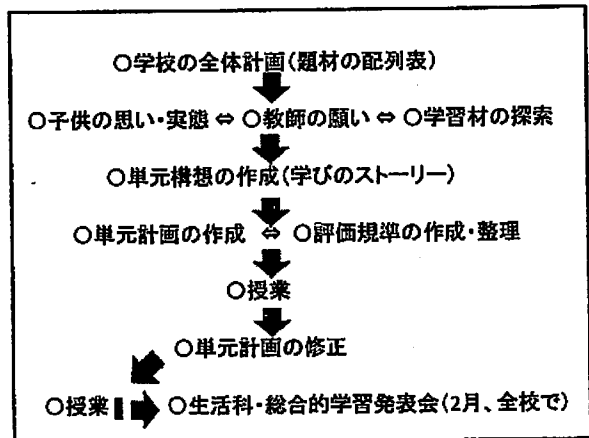
授業の終わり方

- ・「めあて」の設定と共有  
(前時とのつながり、  
児童の言葉を活かす)
- ・個別表現の時間の確保(振り返り)
- ・次時の見通しをもった授業の終わり方

<研究の柱2:一単位時間の授業作り>

④授業の入り方と次につながる

授業の終わり方



実践例1 「パラリンピック応援隊」

(第4学年・全46時間)

■ 単元構想 (当初)

- (1) 学習材との出会い  
「ブラインドサッカー体験」(体育2時間)
- (2) 小単元1「ブラインドサッカーを応援しよう」  
(総合16時間)
- (3) 小単元2「パラリンピックを応援しよう」  
(総合30時間)

○単元の出口で期待したい姿

- ・～ことが分かったよ。スポーツは素敵だな。
- ・自分も困難に会っても、チャレンジしていきたいな。

■ 単元構想 (8月修正版)

- (1) 学習材との出会い  
「ブラインドサッカー体験」(体育2時間)
- (2) 小単元1「ブラインドサッカーを応援しよう」  
(総合21時間)
- (3) 小単元2「パラリンピックってなんだろう」  
(総合15時間)

- ※ 小単元1の児童の課題意識等から、小単元2を変更
- ※ 単元2の「だれもが関わり合えるように〇〇プロジェクト!」(34時間)につながる

○単元の出口で期待したい姿

- ・～ことが分かったよ。スポーツは素敵だな。
- ・自分にもできることがありそう。積極的にやっていきたい。

実践例2

「クールジャパンを探せ! アニメの技発見!」

(第5学年・全70時間)

■ 単元構想 (当初)

- (1) 学習材との出会い  
「今までの総合的な学習でやってきたこと」
- (2) 小単元1「クールジャパンってどんなことか探ろう」  
(8時間)
- (3) 小単元2「アニメーションの魅力を探ろう」  
(30時間)
- (4) 小単元3「身近なクールジャパンを見つけ、みんなに広げよう」  
(32時間)

○単元の出口で期待したい姿

実践例2

「クールジャパンを探せ! アニメの技発見!」

(第5学年・全70時間)

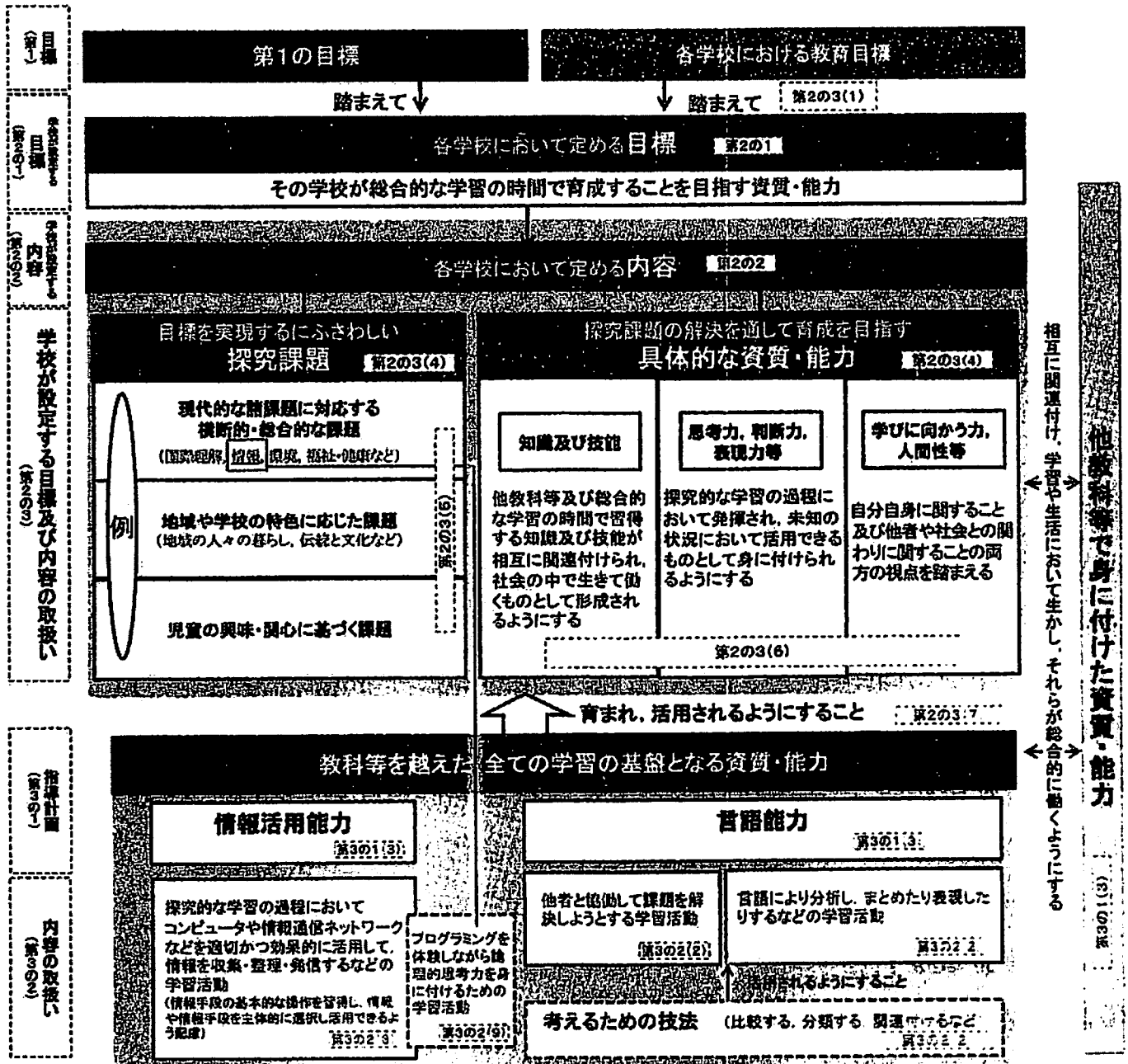
■ 単元構想 (8月修正版)

- (1) 学習材との出会い  
「今までの総合的な学習でやってきたこと」
- (2) 小単元1「クールジャパンってどんなことか探ろう」  
(8時間)
- (3) 小単元2「〇〇の魅力を探ろう」  
(30時間)
- ※ 学級ごとの課題で探究 (別紙参照)
- (4) 小単元3「身近なクールジャパンを見つけ、みんなに広げよう」  
(32時間)

○単元の出口で期待したい姿

# 【小学校学習指導要領総合的な学習の時間解説 P18】

## 第5章 総合的な学習の時間の構造イメージ (小学校)



平成 29 年度 研究構想図

谷戸第二小学校の教育目標

学ぶ喜び、集う喜び、伸びる喜びをつかむ子

- 1 自己の課題に向かって本気で取り組み、「わかる・できる」を広げる子
- 2 明るく思いやりをもって友達と助け合い、学び合って活動する子
- 3 自他の力が伸びたり成長したりしていることを確かめ、今後の自分に希望や志をもつ子
- 4 健康で安全な生活のできる子

小学校学習指導要領「生活科の目標」

具体的な活動や体験を通して、自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりに関心をもち、自分自身や自分の生活について考えさせるとともに、その過程において生活上必要な習慣や技能を身に付けさせ、自立への基礎を養う。

谷戸二小「総合的な学習の時間の目標」

地域の社会や生活の中から課題を見付け、主体的・協働的・創造的に課題を解決する探究的な学習に取り組み、課題に関わる概念の形成や課題解決のための思考力・表現力、地域に貢献する意識と態度などの資質・能力を身に付け、自己の生き方を考えていけるようにする。

研究主題

思考力・表現力等の資質・能力を育てる授業づくり  
～ 探究と協働の活動を通して ～

育てたい能力の明確化

比較する、分類する、関連付ける、多面的にみる 言語で表現する 言語以外で表現する

<総合的な学習の時間>

問題解決的な活動が、「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」の学習過程を経由して、発展的に繰り返され、児童が自らの考えや課題が更新する学びのプロセス。

<生活科>

【出会い】【体験や活動を通じた振り返り】【思いや願いを表現する】【仲間や役割をみる】と、自らの学習活動を通じた振り返り活動の質を高めるための7目標を

協働

友達や地域の人とかがわり、多様な情報や異なる見方・考え方を生かして、交流して、自らの問題解決を進める。

研究の柱 1：単元構想

- ・児童が思いや願い、問いをもって探究する単元づくり

研究の柱 2：1 単位時間の授業展開

- ・全員参加の協働する活動の中で、個々の児童が自己の考えや表現を広げ深める授業づくり

手だて

□探究的な学習の構築

- ・自らかかわり、追究したくなる学習材の選定
- ・児童の問いや体験に基づいた課題設定と問題解決のための探究活動の組立（ストーリー性）
- ・児童にとって魅力的な体験活動や具体的な活動の選択と組立
- ・地域の専門家等のゲストティーチャーの活用
- ・他学年や地域の役に立とうとする発想と活動

□国語科との関連的指導

- ・国語科の学習内容・学習方法を活用するための国語科の単元配列等の学習計画の組み換え
- ・国語科の既習内容を生かす（生かさせる）指導・助言

□思考の「見える化」と「操作化」を推進し、全児童の協働を促すツールの活用

- ・思考ツールの活用
- ・ミニホワイトボードや付箋紙、視聴覚機器等の活用
- ・板書の工夫（教師の主な問いかけや主な資料、児童の発言等を、関連付けたり表にしたりする構造的な板書）

□学習形態の工夫

- ・一人学び・二人学び・グループ学び・みんな学びなどの学習形態の組立と活用

□見取りとそれに応じた言葉かけ

- ・児童の発言、振り返りカード等からの適切な見取り
- ・児童の活動の実際に応じた言葉かけ（認め・ほめる、励ます、つなげる、問い返す等）

□授業の入り方と次につながる授業の終わり方

- ・前時からのつながりや、児童の意識や言葉を生かした「めあて」の設定と共有
- ・個別の熟考表現の時間の確保（振り返りシートの活用）
- ・児童と共に次時の見通しをもつ終わり方

谷戸第二小学校 総合的な学習の時間 全体計画 (平成29年度)

**<児童の実態>**

- ・地域にかかわる生活経験が少なく、限られている傾向がある
- ・読書好きな子が多く、情緒面や知識量が豊かな子が多い
- ・情報を整理・分析する方法について理解し活用できる子が増えてきた
- ・総合的な学習の時間を好きな子が多い
- ・学習態度は真面目であるが、主体的能動的に取り組むことが課題

**<保護者の願い>**

- ・確かな学力、豊かな人間性、健やかな体の育成
- ・学習習慣の確立と定着
- ・安心できる学校生活を送ってほしい

**<学校の教育目標>**

学ぶ喜び、集う喜び、伸びる喜びをつかむ子

- 1 自己の課題に向かって本気で取り組み、「わかる・できる」を広げる子
- 2 明るく思いやりをもって友達と助け合い、学び合って活動する子
- 3 自他の力が伸びたり成長したりしていることを確かめ、今後の自分に希望や志をもつ子
- 4 健康で安全な生活のできる子

**<谷戸二の総合的学習の目標>**

地域の社会や生活の中から課題を見付け、主体的・協働的・創造的に課題を解決する探究的な学習に取り組み、課題に関わる概念の形成や課題解決のための思考力・表現力、地域に貢献する意識と態度などの資質・能力を身に付け、自己の生き方を考えていけるようにする。

**<地域の実態>**

- ・急行が停車する二路線・二つの駅の間に広がる交通便利な地域
- ・駅周辺のデパートや、学校近くには図書館や大きな公園もある
- ・住宅地の間には、畑地が広がり、東大農場・演習林等の緑の多い地域
- ・保護者や地域の人は、教育活動に理解があり協力的
- ・地域には、ガーデニングや茶道、切り絵など文化的な活動を行う人が少なくない
- ・地域は、アニメ産業の集積地

**<地域の願い>**

- ・地域の人と挨拶し交流できる人に
- ・のびのびと成長し活躍してほしい

**<育てようとする資質・能力及び態度>**

**<内容>**

	3・4年	5・6年
<b>学習方法</b>	○対象との体験的なかかわりを通して課題に気付く ○解決の見通しをもち計画を立てる ○必要な情報を収集する ○集めた情報を、思考ツール等を活用して効果的に整理・分析する ○相手や目的に応じて表現する ○学んだことを自分や地域の人の生活に活かそうとする	○対象と積極的にかかわる中で、課題を設定する ○解決の方法や手順を考えて計画を立てる ○手段を選択し、情報を収集する ○集めた情報を、目的に応じた思考ツール等を選択・活用して効果的に整理・分析する ○相手や目的に応じて効果的に表現する ○学んだことを自分や地域の人の生活に活かそうとする
<b>知識・技能</b>	○課題についての事実的知識や課題解決に必要な技能と、他教科の学習等で身に付けた知識や技能と関連付けながら、概念を形成する。(概念的な知識を創り出す)	
<b>自分自身／他者とのかかわり</b>	○自分の行為について意思決定する ○目標を設定して、課題の解決に向けて行動する ○異なる見方・考え方や意見があることを認め、受け止める ○自分と地域とのつながりに気付き、地域と進んでかかわる ○自分たちの学習を学校や地域の人に役立てようとする	○自らの生活の在り方を見直し、よりよい在り方を考え実践する ○自己の成長を振り返り、これからの自分を見つめ高めようとする ○異なる見方や考えがある他者と協力して課題を解決する ○自分と地域のかかわりを考えながら、自分たちの学習を学校や地域に役立てようとする

	学習対象	学習事項
街づくり	地域の街のよさと、課題解決の取り組み	○地域の街のよさ・魅力と課題 ○街の課題を解決しようとしている人々や組織の思い・取組 ○自分ができること
環境	身近な自然環境	○身近な自然の存在とそのよさ ○環境と自分たちの生活とのかかわり ○よりよい環境づくりのためにできること
オリンピック	オリンピックの技と生き方、障害者スポーツと支援する人々、世界の人を迎える準備	○オリンピックの技のすばらしさ、志 ○パラリンピックの競技や障害者スポーツに関わる人々の思い ○東京五輪に向けての取組
福祉	身の回りの障害者と、その暮らしを支援する仕組みや人々	○身の回りの障害者とその暮らし ○地域の福祉の現状と問題 ○よりよい福祉を創るための取組み ○自分ができること
素敵な日本	「素敵な日本」の内容とそれを支える人々や地域の働き	○アニメ、切り絵、和食等の魅力と世界に支持される日本文化 ○制作の仕方と人々の取組 ○自分がしたいこと、できること
伝統文化	伝統や文化のよさと、その継承に力を注ぐ人々	○茶道やお茶会などの伝統や文化のもつ特徴・よさ ○おもてなしの心と技の具体的な内容 ○継承する人々の取組 ○自分
国際	地域に暮らす外国人と支える人々	○世界の国々の伝統や文化とそのよさ ○異なる文化と交流する活動や取組 ○外国人の方をサポートする方々の取組
キャリア	将来への展望とのかかわりで訪ねてみたい人や機関	○地域で働く人の存在と働くことの意味 ○地域社会を支える様々な職業や機関 ○自分自身のよさへの気付きと将来展望

	主な学習活動 (各学年2単元)
3年	<b>町づくり・環境</b> ○わたしたちの町のお宝発見隊 ○環境にやさしい町づくり
4年	<b>福祉・オリンピック</b> ○パラリンピック調査隊 ○障害者スポーツから広げよう、身近な方々との交流の輪
5年	<b>伝統文化・現代日本・国際</b> ○すてきな日本 ○クールジャパンを広げよう
6年	<b>国際・キャリア</b> ○つながろう、世界と！ ～多文化共生の中で生きる～ ○オリンピックに学ぼう、私の夢実現プロジェクト

**<指導方法>**

- ・学習材との出合わせ方と学習課題設定のプロセスの工夫
- ・児童の課題意識を繋ぎ、新たな課題を生み出す支援(探究活動の構築)
- ・児童の深い見取りによる個に応じた支援の重視
- ・児童が錯覚を使って試行錯誤できる体験活動の工夫
- ・思考ツール、ミニホワイトボード、付箋紙、ICT活用による可視化・操作化の工夫
- ・協働する活動が必然的に生まれる学習活動の展開
- ・適時のふりかえりの文章表現による、体験や学習の意味の自覚の促進

**<学習の評価>**

- ・観点別学習状況を把握するための評価規準の設定と活用
- ・個人内評価の重視
- ・指導と評価の一体化の重視
- ・授業分析による学習指導の評価と改善
- ・学期末、学年末における指導計画の評価・改善の実施

**<指導体制>**

- ・学年部を中心とした学習材研究と計画立案、指導、評価の体制を構築
- ・学習材は学年共通、学習展開は学級の特性を活かす
- ・学年会と学年部会での実践と情報の交流を行う
- ・思考ツール等の活用と、探究活動構築等の研修会を計画的に実施する

☆各学年、オリンピック・パラリンピック教育と関連させる。

	4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
3年	<p><b>わたしたちの町はすてきな町 ～見のがしていたね、西東京市～ (20)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見のがしていた西東京市について調べよう</li> <li>・見のがしていた西東京市を発信しよう</li> </ul>										
	<p><b>花いっぱいプロジェクト (50)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の一員として活動しよう</li> <li>・「花いっぱい運動」を地域に知らせよう</li> <li>・「花いっぱい運動」を広げよう</li> </ul>										
4年	<p><b>パラリンピック応援隊 (36)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブラインドサッカーを応援しよう</li> <li>・パラリンピックを応援しよう</li> </ul>										
	<p><b>だれもが関わりあえるために ◎◎プロジェクト (34)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクトの見通しを立てて準備しよう</li> <li>・プロジェクトを成功させよう</li> <li>・だれもが関わりあえるように</li> </ul>										
5年	<p><b>クールジャパンを見つけ、探究して発信しよう!</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クールジャパンってどんなことか探ろう</li> <li>・〇〇の魅力を探ろう</li> <li>・アニメーションの魅力を探ろう</li> <li>・身近なクールジャパンを見つけ、みんなに広げよう</li> </ul>										
6年	<p><b>つながろう、世界と! ～多文化共生の中で生きる～ (46)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域にある外国のことや外国から来た人のことを調べよう!</li> <li>・交流パーティーを開こう</li> <li>・つながろう、世界と</li> </ul>										
	<p><b>私の夢実現プロジェクト (24)</b></p>										



## 第68次 印旛地区教育研究集会（総合的な学習）

1 日 時 平成30年8月22日（水） 9：30～16：30

2 場 所 プリミエール酒々井 文化ホール  
TEL 043-496-8681

3 助言者 千葉県教育庁北総教育事務所 指導主事 大根 雄一 先生

### 4 日 程

受 付	9：00～	9：30
開会行事	9：30～	9：50
提案 1 佐倉市立寺崎小学校	教諭 出口 芽衣子 先生	
研究協議	9：55～	10：40
提案 2 四街道市立吉岡小学校	教諭 藪 圭士朗 先生	
研究協議	10：55～	11：40
昼食休憩	11：40～	13：00
助言者指導	13：00～	14：00
全国教研報告等	14：10～	14：40
（各部会における実践報告含む）		
講演会	14：50～	16：20
講 師 武蔵野大学 講師 諸岡 浩 先生		
演 題 「これからの総合的な学習の時間に求められていること」		
閉会行事	16：20～	16：30

5 その他 司会 四街道市立中央小学校 石川 一義  
佐倉市立印南小学校 吉田 卓次  
記録 佐倉市立佐倉小学校 丸山 章子